

2019.7.4

災害リスク情報 <号外>

豪雨災害に備える

～九州地方南部における記録的な大雨を踏まえて～

2019年7月3日現在、日本付近に停滞している梅雨前線の活発な活動により九州で記録的な大雨となっています。さらに西日本と東日本でも、局地的に猛烈な雨や非常に激しい雨が降り大雨となると予報されています。大雨による土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水や氾濫等の災害に厳重な警戒が必要な状況となっています。

本レポートは発生が懸念される豪雨災害に備えるための情報について昨年7月12日に発行した「災害リスク情報<号外>」の内容を一部修正し、再発行するものです。

なお、本レポートは7月3日15時現在の情報に基づいて作成しています。

- ✓ 水害に関する気象情報・防災情報について、特徴と活用例を説明します。
- ✓ 情報を活用した企業の備えについて説明します。

1. 気象情報・防災情報の例と入手先（最終アクセス：2019年7月3日）

水害は発生前から気象・防災情報を入手し、対策を講じることで、被害を軽減できる可能性があります。水害対策に有益な防災情報を下表に示します。

表：主な気象情報・防災情報例

気象庁	国土交通省	各自治体の防災ポータルサイト
⇒警報・注意報 ⇒危険度分布    ⇒今後の雨  ⇒雨雲の動き 	⇒国土交通省ハザードマップポータルサイト  ⇒川の防災情報 	例：鹿児島県防災 web 

2. 気象庁ウェブサイトの防災気象情報

2019年7月3日現在、気象庁ウェブサイトのトップページ「大雨・台風」のタブ内のリンクより台風情報のほか、土砂災害・浸水に関する危険度、警報・注意報、雨量の状況にアクセスすることができます。また、画面右下のピックアップ情報内の「気象×水害・土砂災害」情報マルチモニタより、河川の水位状況等に関する情報にアクセスすることも可能です。

国 土 交 通 省
気象庁
Japan Meteorological Agency

ホーム | 防災気象情報 | 各種データ・資料 | 知識・解説 | 気象庁について | 案内・申請

天気 | 大雨・台風 | 地震・火山 | 地図から選択

災害関連情報

- 山形県沖の地震
- 平成30年北海道胆振東部地震
- 火山活動状況
- 水良良島
- 平成30年7月豪雨の関連情報
- 【東海地方】【近畿地方】
- 【中国地方】【四国地方】

P4 参照

がけや溪流の近くにお住まいの方
河川沿いにお住まいの方

大雨洪水警報の危険度分布
あなたの周りで危険度が高まっている場所を見る

気象警報・注意報
市町村ごとの発表状況を見る

P3 参照

平成28年熊本地震
御嶽山噴火
東日本大震災～平成23年東北地方太平洋沖地震～

この雨大丈夫？そんな時
危険度分布

火山登山者向けの情報提供ページ

P5 参照

雨の様子(雨雲の動き/今後の雨)
雨雲の動きを見る

台風情報
台風の予測を見る

ピックアップ情報

- 気象×水害・土砂災害情報マルチモニタ
- 防災気象情報と警戒レベル
- 高温注意情報
- 週間天気予報
- 気象情報
- 気象レーダー

新着情報 | 一覧 | RSS配信

国土交通省「気象×水害・土砂災害」情報マルチモニタ

全国 | 北海道 | 東北 | 関東 | 北陸 | 中部 | 近畿 | 中国 | 四国 | 九州 | 沖縄

雨の降っている地域 (XRAIN)

気象情報・注意報

河川カメラ(→全国のカメラへ)

川の水位情報

洪水の危険性が高まっている河川

洪水警報の発表地域

現在放送しているダム

洪水警報の危険度分布

リンク集

- 雨量の動き (高知県環境水フキャスト)
- バザーマップ
- ポータルサイト
- 土砂災害警戒情報
- 地点別浸水シミュレーション (浸水ナビ)
- 交通情報・道路状況
- 統合災害情報システム (DISAPPS)
- 防災情報提供センター
- 防災ポータル

土砂災害危険度分布

リスクリン

新着情報

被害情報

準備中

図1：気象庁ウェブサイトトップページ（上図）¹⁾と国土交通省情報マルチモニタ（下図）²⁾

※一部当社にて加筆

気象警報・注意報（気象庁ウェブサイト） <http://www.jma.go.jp/jp/warn/>

活用の仕方

緊急時の対応を実施する判断指標とする。

判断指標	企業・組織の対応例
「注意報」が発表されたら	今後の気象情報・防災情報に警戒
「警報」が発表されたら	従業員の安全を確保、事業所の事故防止対策を実施
「特別警報」が発表されたら	緊急時の対応を全て完了 被災した場合には、事故現場等の危険な場所の立入禁止

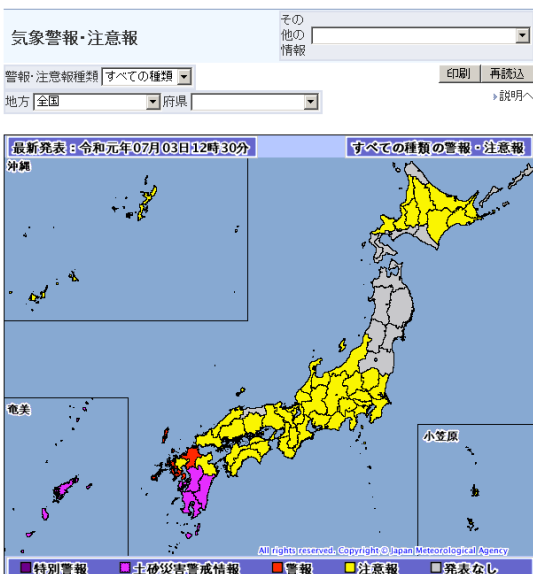


図 2：気象警報・注意報の発表状況例 ③

特別警報

警報の発表基準をはるかに超える現象により重大な災害が発生するおそれが著しく高まっている場合に発表

(大雨（土砂災害、浸水害）、暴風、暴風雪、大雪、波浪、高潮)

警報

重大な災害が発生するおそれのあるときに警戒を呼びかけて行う予報

(大雨（土砂災害、浸水害）、洪水、暴風、暴風雪、大雪、波浪、高潮)

注意報

災害が発生するおそれのあるときに注意を呼びかけて行う予報

(大雨、洪水、強風、風雪、大雪、波浪、高潮、雷、融雪、濃霧、乾燥、なだれ、低温、霜、着氷、着雪)

令和 元年 7月 1日 15時 08分 鹿児島地方気象台発表

鹿児島県（奄美地方を除く）の注意警戒事項
薩摩、大隅地方では、土砂災害や低い土地の浸水に警戒してください。薩摩地方では、河川の増水に警戒してください。

お知らせ 平成29年7月11日の地震の影響を考慮し、鹿児島市では大雨警報・注意報の土壌雨量指数基準を通常より引き下げた暫定基準で運用しています。

鹿児島市【継続】大雨(土砂災害、浸水害)、洪水警報 雷注意報

鹿児島市 発表中の 警報・注意報等の種別		今後の推移(■警報級 □注意報級)										備考・ 関連する現象
		1日					2日					
		15-18	18-21	21-24	0-3	3-6	6-9	9-12	12-15	15-18		
大雨	1時間最大雨量 (mm)	40	30	30	50	50	50	50	30	30	以後も注意報級 浸水警戒	
	(土砂災害)										以後も警報級 土砂災害警戒	
洪水	(洪水害)										氾濫	
雷											以後も注意報級 豪雨	

警報は、警報級の現象が予想される時間帯の最大5時間前に発表します。

黄色で着色した種別は、今後警報に切り替える可能性が高い注意報を表しています。

- ・ 警報・注意報の発表時に、その現象が予想される時間帯を発表。
- ・ 注意報から今後警報に切り替える可能性がある場合には、発表文中に記載。
- ・ 5日先までに警報級の現象が起こりうる可能性を、[高][中]の2段階で発表。

令和元年 7月 1日 17時 00分 鹿児島地方気象台発表

鹿児島県薩摩地方の早期注意情報(警報級の可能性)

薩摩地方では、2日までの期間内に、大雨警報を発表する可能性が高い。

種別	警報級の可能性					
	1日		2日		3日	
	明け方まで 18-6		朝～夜遅く 6-24		3日	4日
大雨	[高]	[高]	[高]	[高]	[中]	[中]
暴風	-	-	-	-	-	-
波浪	-	-	-	-	-	-

[高]:警報を発表中、又は、警報を発表するような現象発生の可能性が高い状況です。明日までの警報級の可能性が[高]とされているときは、危険度が高まる詳細な時間帯を本ページ上段の気象警報・注意報で確認してください。

図 3：市町村単位 図表形式での発表例（2019年7月1日鹿児島市の例） ③

危険度分布（気象庁ウェブサイト）



土砂災害

大雨警報(土砂災害)の危険度分布



浸水害

大雨警報(浸水害)の危険度分布



洪水

洪水警報の危険度分布

活用の仕方

上記3つの水害に対して、どこで危険度が高まるかを、地図上で確認でき、災害が切迫している時点において、緊急時対応（情報伝達、施設管理、避難など）を行うかどうかの判断指標となる。

土砂災害 <https://www.jma.go.jp/jp/doshamesh/>

- 土砂災害警戒情報及び大雨警報等を補足する情報であり、土砂災害の危険度を5段階で判定し、色分け表示して発表。

大雨警報(土砂災害)の危険度分布

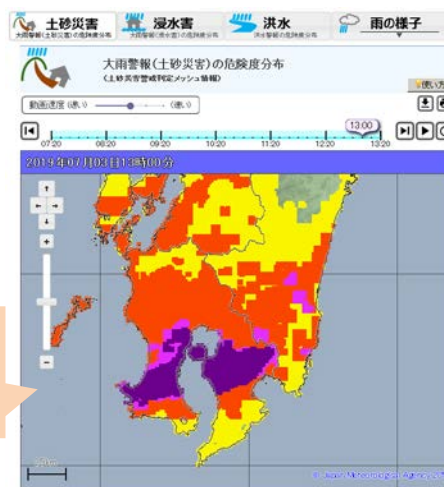
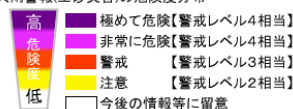


図4：「土砂災害」発表例④

浸水害 <https://www.jma.go.jp/jp/suigaimesh/inund.html>

- 大雨警報（浸水害）を補足する情報であり、浸水害の危険度を5段階で判定し、色分け表示して発表。

大雨警報(浸水害)の危険度分布



図5：「浸水害」発表例⑤

洪水 <https://www.jma.go.jp/jp/suigaimesh/flood.html>

- 洪水警報を補足する情報であり、危険度を5段階で判定して色分け表示して発表。
- どこで危険度が高まるか地図上のメッシュで確認可能。

指定河川洪水予報

国や都道府県が管理する河川のうち、流域面積が大きく、洪水により大きな被害を生ずる河川について、洪水のおそれがあると認められるときに発表。



高 氾濫発生情報【警戒レベル5相当】
危険 氾濫危険情報【警戒レベル4相当】
危険 氾濫警戒情報【警戒レベル3相当】
低 氾濫注意情報【警戒レベル2相当】
発表なし

洪水警報の危険度分布

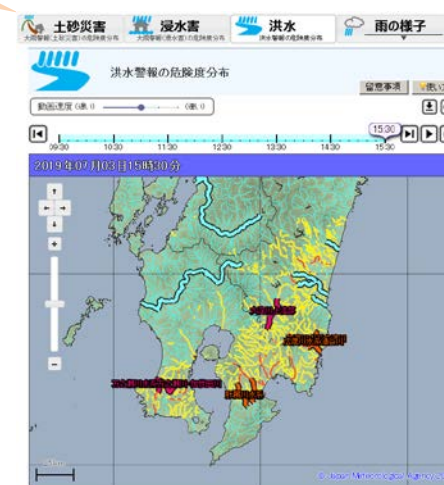
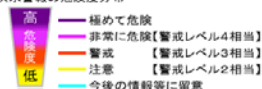


図6：「洪水」発表例⑥

危険度の段階について

気象庁では危険度の段階の色分けについて、利活用例を示しています。

極めて危険

命に危険が及ぶ災害がすでに発生しているにもかかわらず、(数十年に一度のこれまでに経験したことがないような異常事態)

非常に危険

命に危険が及ぶ災害がいつ発生してもおかしくない

警戒（警報級）

注意（注意報級）

今後の雨（気象庁ウェブサイト）

<https://www.jma.go.jp/jp/kaikotan/index.html>

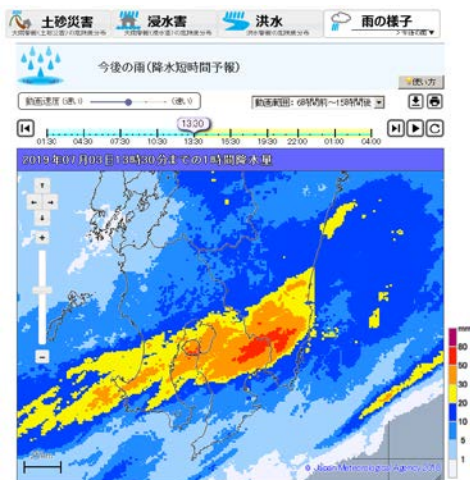
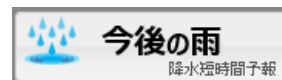


図 7：今後の雨の予測例 7)



活用の仕方

始業時や終業時など定期的に確認することで、日中や翌日までの予想雨量の把握ができる。

- ・ 2018 年 6 月 20 日より新たに公開。
- ・ 日本全域の降水強度について、15 時間先までの 1 時間ごとの予測が表示。
- ・ 6 時間先までの予測は 10 分おきに更新、7 時間先から 15 時間先までの予測は 1 時間おきに更新。

雨雲の動き（気象庁ウェブサイト）

<https://www.jma.go.jp/jp/highresorad/index.html>

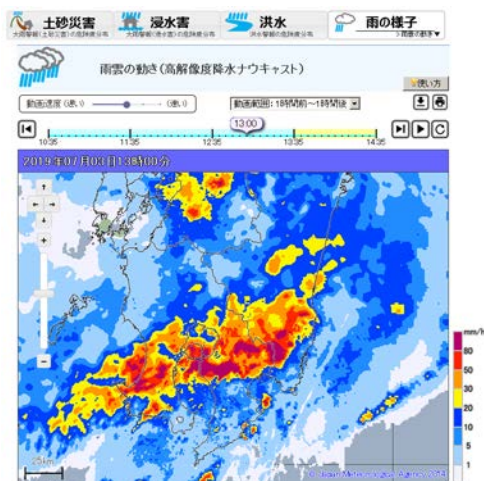


図 8：「雨雲の動き」発表例 8)



活用の仕方

屋外作業中や移動中の場合に、現在地周辺の詳細な降雨量を把握できる。

- ・ 日本全域の降水強度について、5 分ごと、250m 解像度で詳細に確認可能。
- ・ 過去 3 時間の観測情報および今後 1 時間先までの予測が表示。

5段階の警戒レベルと防災気象情報

警戒 レベル	住民が取るべき行動	市町村の対応	気象庁等の情報	相当する 警戒 レベル
5	災害がすでに発生しており、 命を守るための最善の行動をとる	災害発生情報 ※可能な範囲で発令 ・大雨特別警戒発表時は、避難勧告等 の対象範囲を再度確認	大雨 特別警戒	5 相当
4	・危険度分布の「極めて危険」（濃い紫）出現時には、 道路冠水や土砂崩れにより、すでに避難が困難になっ ているおそれがあり、この状況になる前に避難を完了しておく 速やかに避難 ・危険な区域の外の場所でも安全な場所に速やかに避難	避難指示(緊急) ※緊急的又は避難を促す場合に発令 避難勧告 第4次防災体制 (災害対策本部設置)	危険度分布 極めて危険 非常危険 土砂災害 警戒情報 高潮 特別警戒 ※2 高潮 警戒情報 ※1 大雨警戒 洪水警戒	4 相当
3	土砂災害警戒区域等や 急激な水位上昇のおそれがある河川沿いにお住まいの方は、 避難準備が整い次第、避難開始 高齢者等は速やかに避難	避難準備・高齢者等避難開始 第3次防災体制 (避難勧告の発令を判断できる体制)	大雨警戒 洪水警戒 ※1 高潮警戒 可能性が高い 注意報	3 相当
2	ハザードマップ等で避難行動を確認	第2次防災体制 (避難準備・高齢者等避難開始の 発令を判断できる体制) 第1次防災体制 (連絡要員を配置)	大雨警戒 可能性が高い 注意報 大雨注意報 洪水注意報 高潮 注意報	2 相当
1	災害への心構えを高める	・心構えを一段高める ・職員の連絡体制を確認	早期 注意情報 (警戒級の 可能性)	

※1 夜間～翌日早朝に大雨警戒(土砂災害)に切り替える可能性が高い注意報は、避難準備・高齢者等避難開始(警戒レベル3)に相当します。

※2 暴風警戒が発表されている際の高潮警戒に切り替える可能性が高い注意報は、避難勧告(警戒レベル4)に相当します。

「避難勧告等に関するガイドライン」(内閣府)に基づき気象庁において作成

図9：(ご参考) 5段階の警戒レベルと防災気象情報⁹⁾

3. 国土交通省が発信する防災情報

重ねるハザードマップ（国土交通省ポータルサイト）

<https://disaportal.gsi.go.jp/>

活用の仕方

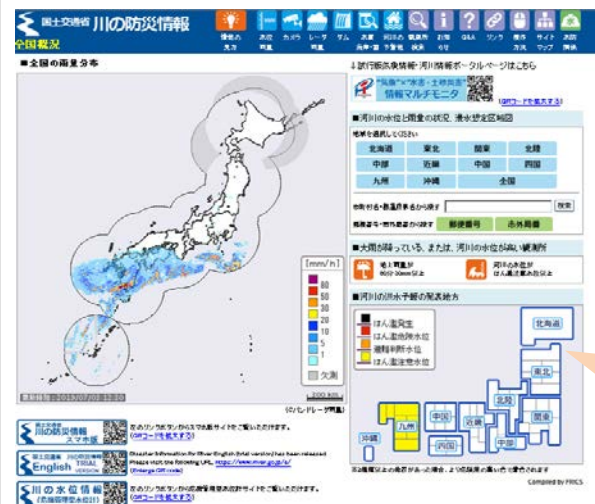
関心ある地域の災害リスク（洪水、土砂災害、津波）を認識し、防災対策、緊急時対策を策定する参考情報となる。

従業員などに周知させ、事業所や自宅周辺の災害リスクに対する認識を高める。

- 洪水・土砂災害・津波のハザード情報に加えて、道路防災情報、土地の特徴・成り立ちなどを地図や写真に自由に重ねて表示可能。

図 10：ハザードマップの表示例 10)

川の防災情報（国土交通省）

<http://www.river.go.jp/kawabou/ipTopGaikyo.do>

活用の仕方

関心ある地域の周辺の、比較的大きい河川（指定洪水河川・水位周知河川）の水位状況を確認できる。

対象とする河川のリアルタイムの状況を把握し、防災対策、緊急時対応を講じるための情報とする。

- 雨量分布、河川水位などの観測情報や洪水予報、河川のライブカメラ映像など、河川洪水に関わる情報を確認可能。

図 11：雨量分布の表示例 11)

4. 地方自治体が発信する防災情報

自治体別防災ポータルサイト

活用の仕方

関心ある地域（主に都道府県）の、警報・注意報や災害発生状況について、概要を把握することができる。各都道府県で発信されている情報の項目は異なるため、事前に対象の自治体ではどのような情報が得られるかを確認しておくことが重要である。

鹿児島県防災Web

トップページ | 避難・被害情報 | 気象情報 | 地震・火山情報 | 河川砂防情報 | 道路通行規制情報

気象情報・注意報

鹿児島県（奄美地方除く） | 奄美地方

2019年07月03日 12:38 発表

市町村名	土砂災害警戒情報	竜巻注意情報	特別警報・警報・注意報	履歴
鹿児島市	発表中		大雨(土砂災害・洪水) 洪水 高潮 雷	履歴
日置市	発表中		大雨(土砂災害) 洪水 雷	履歴
いちき串木野市	発表中		大雨(土砂災害) 洪水 雷	履歴
岡久根市	発表中		大雨(土砂災害) 洪水 高潮 雷	履歴
出水市	発表中		大雨(土砂災害) 洪水 高潮 雷	履歴
伊佐市	発表中		大雨(土砂災害) 洪水 雷	履歴
長島町	発表中		大雨(土砂災害) 洪水 高潮 雷	履歴
薩摩川内市	発表中		大雨(土砂災害) 洪水 高潮 雷	履歴
姶良市	発表中		大雨(土砂災害) 洪水 高潮 雷	履歴

図 12：鹿児島県防災 web¹²⁾

- 鹿児島県防災 web では、市町村ごとの防災気象情報のほか、避難情報なども表示。

- 上述の情報は、地図上へも可視化され、関心のある地域を直接確認可能。



図 13：鹿児島県防災 web¹²⁾

5. 企業における水害への備え

防災気象情報を有効に活用するためには、時間軸にそった緊急時の対策のほか、緊急時にスムーズに行動できるように平常時から対策を検討しておくことも重要です。ここでは、平常時の対策、緊急時の対策に分けて、水害への備えを実施できるチェックリストの例を次項に紹介します。

平常時の対策は、事前対策と呼ばれるもので、日常的に対策を講じておくことで実際に水害が発生しても被害の軽減に繋げることが可能になります。

一方、緊急時の対策は、水害の発生が間近に迫っている状況下で、限られた時間の中で実行する対策であり、事前に決めておいた避難行動や重要設備の保護等有効な対策を実行に移す段階を指します。

水害対策チェックリスト（一部、風害対策含む）

平常時の対策	
施設管理	<input type="checkbox"/> 建物の修繕計画を策定し、運用している。 <input type="checkbox"/> 建物の定期点検項目を明確にし、劣化や損傷、不具合の箇所を修繕・解消している。 <input type="checkbox"/> 外装材のひび割れや穴 <input type="checkbox"/> 外装材や屋外設置物の留め金具の錆や緩み <input type="checkbox"/> 窓やシャッターのがたつき <input type="checkbox"/> 雨漏り箇所 <input type="checkbox"/> 屋上防水の劣化 <input type="checkbox"/> 排水系統の詰まり <input type="checkbox"/> 非常用発電機、排水ポンプの燃料補給・試運転 <input type="checkbox"/> リスクが大きいと考えられる箇所に対策を施している。 <input type="checkbox"/> 間柱・小梁による窓枠周りの補強 <input type="checkbox"/> 窓ガラスへの飛散防止フィルムの貼付、あるいは強化ガラス・網入りガラスの採用、あるいは雨戸の設置 <input type="checkbox"/> 中柱設置によるシャッターの二面化、あるいは重量のあるシャッターへの取換え <input type="checkbox"/> スレート、鉄板などの外装材の留め金具の増設 <input type="checkbox"/> 倒れそうな樹木の補強、あるいは除去 <input type="checkbox"/> 浸水危険の小さい場所へのデータサーバーや重要書類の保管庫の設置 <input type="checkbox"/> 重要データの複製 <input type="checkbox"/> 受変電設備の嵩上げ <input type="checkbox"/> 浸水センサー、風速計の設置
	<p>～常備しておきたい資機材・備蓄品～</p> <p><施設・収容品防護用> <input type="checkbox"/> 土のう <input type="checkbox"/> 止水板 <input type="checkbox"/> 排水ポンプ <input type="checkbox"/> 防水シート <input type="checkbox"/> バケツ <input type="checkbox"/> パレット(保管品の嵩上げ用) <input type="checkbox"/> はしご <input type="checkbox"/> 針金 <input type="checkbox"/> ロープ <input type="checkbox"/> ガムテープ</p> <p><人命安全確保用> <input type="checkbox"/> ヘルメット <input type="checkbox"/> 長靴 <input type="checkbox"/> 手袋 <input type="checkbox"/> 懐中電灯 <input type="checkbox"/> 雨合羽 <input type="checkbox"/> ゴムボート <input type="checkbox"/> 担架 <input type="checkbox"/> 拡声器 <input type="checkbox"/> トランシーバー <input type="checkbox"/> 従業員名簿</p> <p><事業継続・帰宅困難対応> <input type="checkbox"/> 非常用発電機 <input type="checkbox"/> 非常食 <input type="checkbox"/> 飲料水 <input type="checkbox"/> 非常用トイレ <input type="checkbox"/> 毛布 <input type="checkbox"/> 簡易間仕切り(プライベート空間の確保)</p> <p><その他> <input type="checkbox"/> 配置図 (建物や設備、保管品の設置場所が示されたもの) <input type="checkbox"/> 危険箇所図 (危険箇所が図面に示されたもの) </p>
行動計画・マニュアル	<input type="checkbox"/> 事前防災行動計画(タイムライン)を策定している <input type="checkbox"/> 災害のピークから逆算した時間軸での対策(いつ、誰が何を実施するのか予め決めておく) 例: 台風最接近時を基準に、-48時間、-24時間、-12時間、-6時間、…、+3時間の実施事項の明確化 <input type="checkbox"/> 対策実行のトリガー(行動開始基準)の設定 例: 気象庁の各種注意報・警報が発表された際の実施事項の明確化 <input type="checkbox"/> 緊急時の行動基準・対応マニュアルを策定している。 <input type="checkbox"/> 避難場所の設定 <input type="checkbox"/> 安否連絡・確認方法 <input type="checkbox"/> 設備の安全な停止方法 <input type="checkbox"/> 緊急時の対策・行動に関する優先順位 <input type="checkbox"/> 事業継続計画(BCP)を策定している。 <input type="checkbox"/> 中核事業の特定 <input type="checkbox"/> 目標復旧時間の設定 <input type="checkbox"/> 取引先との協議 <input type="checkbox"/> 代替策の用意
	<p>(タイムラインのイメージ)</p>
訓練	<input type="checkbox"/> 実動訓練を実施している。緊急時対応マニュアルどおりに行動ができるか実際に動いてみる(土のう配置、排水ポンプの起動など) <input type="checkbox"/> 図上訓練を実施している。仮想の台風シナリオなどに基づいて、災害対策本部の情報伝達や意思決定がスムーズに行われるかシミュレーションする。

・ 訓練で浮かび上がった課題を計画・マニュアルに反映させることで、より実効性の高い防災体制が構築できる。

緊急時の対策	
施設管理	建物 <input type="checkbox"/> シャッター、出入り口への止水板・土嚢の配置 <input type="checkbox"/> 雨漏り箇所の養生 <input type="checkbox"/> 窓・雨戸の閉止、ベニヤ板・ガムテープでの養生
	設備機器 <input type="checkbox"/> 設備の停止 <input type="checkbox"/> 土のう・防水シートの設置 (建物が老朽化している場合は、雨樋、屋根からの漏水にも備える) <input type="checkbox"/> (移設可能な場合) クレーンでの吊り上げ
	屋内保管品 <input type="checkbox"/> (床置きの場合) ラックや上階に移設、パレットでの嵩上げ <input type="checkbox"/> 壁・開口部からの離隔
	屋外保管品 <input type="checkbox"/> 屋内への移設
	その他 <input type="checkbox"/> 非常用発電機、排水ポンプの稼働 <input type="checkbox"/> 有害物質・禁水物質の密閉・移設 <input type="checkbox"/> 重要データの複製
安全確保	服装・装備 <input type="checkbox"/> ヘルメット、手袋、雨合羽の着用 <input type="checkbox"/> 携帯電話・トランシーバーの携帯 <input type="checkbox"/> (やむを得ない高所点検の際) 安全ロープ・安全帯の装着
	行動 <input type="checkbox"/> 二人以上での作業 <input type="checkbox"/> 窓ガラス、電線、樹木、貯水池周辺の歩行制限 <input type="checkbox"/> (浸水時) 通路幅が広く平坦な場所の通行
情報収集・伝達	情報収集 <input type="checkbox"/> 気象情報(雨、風、雪などの実況・予測情報) <input type="checkbox"/> 河川水位情報、潮位情報 <input type="checkbox"/> 防災気象情報(注意報・警報・特別警報、台風情報、氾濫警戒情報など) <input type="checkbox"/> 自治体の避難に関する情報(避難準備情報、避難勧告、避難指示) <input type="checkbox"/> 交通、インフラの情報
	情報伝達 <input type="checkbox"/> 構内アナウンス・アラート <input type="checkbox"/> 掲示板・ホワイトボード <input type="checkbox"/> SNS <input type="checkbox"/> e-mail <input type="checkbox"/> web会議システム <input type="checkbox"/> 安否確認システム
災害対策本部	<input type="checkbox"/> 対策本部の設置 ・対策本部長、事務局、各担当班(情報収集、施設点検、救護、避難誘導など) <input type="checkbox"/> 外出、出社、帰宅の制限 <input type="checkbox"/> 事業継続・復旧策の検討 ・建物・設備復旧業者、応援要員の手配、他拠点での代替生産、原材料・部品の代替調達
記録	<input type="checkbox"/> 災害発生時の状況を記録する。 <input type="checkbox"/> 気象状況(降水量、風速) <input type="checkbox"/> 構内の状況(水深、積雪高さ) <input type="checkbox"/> 被害の状況(物的被害、操業停止時間など)
事後の対策	
施設管理	<input type="checkbox"/> 施設の損傷箇所の点検・修繕・再発防止措置 <input type="checkbox"/> 事故現場の撮影・記録 <input type="checkbox"/> 通行禁止帯の明示 <input type="checkbox"/> 使用機器・備蓄品の補充・拡充
事業復旧	<input type="checkbox"/> 災害対策本部での検討に基づく事業継続・復旧 <input type="checkbox"/> 各種計画・マニュアルの見直し
被災職員対応	<input type="checkbox"/> 従業員の安否、避難状況の確認 <input type="checkbox"/> 出社可否の確認(無理な出社を要請せず、自宅・家族の安全確保を優先させる) <input type="checkbox"/> 支援が必要と思われる物資(水・食料・衣類・医薬品など)、情報(避難所、給水所、保険、行政の支援手続など)の提供

おわりに

数十年に一度や今までに経験したことのないような大規模な気象災害は、今後もいつ発生するか分からず、日ごろの準備、防災体制の拡充は企業・組織において最優先に取り組むべき課題です。国や自治体から発表される防災情報は年々充実度が増しており、災害発生時に素早い判断と行動を促すための重要なツールとなります。



本稿を参考に企業・事業所においてどのような情報を収集し、防災対策にどのように活用すべきか、いま一度ご検討いただきたいと思います。

リスクマネジメント第一部 災害リスクグループ

グループ長 三和多賀司

主任コンサルタント 江崎 隼輝

【参考】災害リスク情報バックナンバー（2013年以降）

気象災害	災害リスク情報 バックナンバー
 大雨 ・ 水災	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 第83号 平成30年7月豪雨による被害状況と企業の水害対策 http://www.iriic.co.jp/risk_info/disaster/83.php ◆ 第77号 2017年7月から改善される気象庁防災気象情報と企業の内水氾濫対策 http://www.iriic.co.jp/risk_info/disaster/77.php ◆ 第70号 近年の水災の傾向と企業に求められる対策 http://www.iriic.co.jp/risk_info/disaster/70.php ◆ 号外 台風18号による大雨などに係る被害と防災情報の概要について http://www.iriic.co.jp/risk_info/disaster/2015_sp01.php ◆ 第59号 豪雨等による土砂災害の被害と対策 http://www.iriic.co.jp/risk_info/disaster/59.php
 強風 ・ 台風 ・ 高潮	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 号外 平成30年台風第21号の概要と高潮対策 http://www.iriic.co.jp/risk_info/disaster/2018_sp03.php ◆ 第72号 2016年8月、9月の台風の概要と防災気象情報の活用のすすめ http://www.iriic.co.jp/risk_info/disaster/72.php ◆ 第65号 台風による被害と企業の対策 http://www.iriic.co.jp/risk_info/disaster/65.php ◆ 第51号 台風による風災リスクおよびその対策 http://www.iriic.co.jp/risk_info/disaster/51.php

参考文献

- 1) 気象庁ウェブサイト トップページ <https://www.jma.go.jp/jma/index.html>
- 2) 国土交通省ウェブサイト「" 気象" ×" 水害・土砂災害" 情報マルチモニタ」 <https://www.river.go.jp/portal/#>
- 3) 気象庁ウェブサイト「気象警報・注意報」 <http://www.jma.go.jp/jp/warn/>
- 4) 気象庁ウェブサイト「大雨警報（土砂災害）の危険度分布」 <https://www.jma.go.jp/jp/doshamesh/>
- 5) 気象庁ウェブサイト「大雨警報（浸水害）の危険度分布」 <https://www.jma.go.jp/jp/suigaimesh/inund.html>
- 6) 気象庁ウェブサイト「洪水警報の危険度分布」 <https://www.jma.go.jp/jp/suigaimesh/flood.html>
- 7) 気象庁ウェブサイト「今後の雨」 <https://www.jma.go.jp/jp/kaikotan/>
- 8) 気象庁ウェブサイト「雨雲の動き」 <https://www.jma.go.jp/jp/highresorad/>
- 9) 気象庁ウェブサイト「防災気象情報と警戒レベルとの対応について」
<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/bosai/alertlevel.html>
- 10) 国土交通省ポータルサイト <https://disaportal.gsi.go.jp/>
- 11) 川の防災情報 <http://www.river.go.jp/kawabou/ipTopGaikyo.do>
- 12) 鹿児島県防災 web http://www.bousai.pref.kagoshima.jp/pub_web/portal-top/

本誌は、マスコミ報道など公開されている情報に基づいて作成しております。
また、本誌は、読者の方々に対して企業のリスク管理向上に役立てていただくことを目的としたものであり、事案そのものに対する批評その他を意図しているものではありません。

MS&ADインターリスク総研株式会社は、MS&AD インシュアランスグループに属する、リスクマネジメントについての調査研究及びコンサルティングに関する専門会社です。
災害や事故の防止を目的にしたサーベイや各種コンサルティングを実施しております。
コンサルティングに関するお問い合わせ・お申込み等は、下記の弊社お問合せ先、またはあいおいニッセイ同和損保、三井住友海上の各社営業担当までお気軽にお寄せ下さい。

お問い合わせ先

MS&ADインターリスク総研株式会社 <http://www.irric.co.jp/>

リスクマネジメント第一部

東京都千代田区神田淡路町2-105 TEL:03-5296-8917/FAX:03-5296-8942

<災害リスクコンサルティングメニュー>

1. 自社物件の自然災害リスクを網羅的に把握したい
→ハザード情報調査
地震、津波、風水災等のハザード情報（ハザードマップ等）を収集・整理し、報告書にまとめて提供します。
2. ハザードマップでは不明瞭な自社物件の水災リスクを把握したい
→水災対策コンサルティング
河川の氾濫や局地的大雨を想定した水災シミュレーションをベースに、事業継続計画（BCP）の見直しを含む各種アドバイス・サービスを提供します。
3. 不動産証券化をするため、地震PMLを知りたい
→地震リスク評価
資料（建物構造、階数、保険金額、用途、建築年など）を基に地震発生時の予想最大被害額（PML）を算定し、報告書にまとめて提供します。

不許複製／Copyright MS&AD インターリスク総研 2019